

款	消防費	項	消防費
施策名	消防施設整備事業		
施策体系名	市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり		
決算額	73,563千円	財源内訳	国県支出金等 (59,200千円) 一般財源 (14,363千円)

【施策の概要】

- ◎化学消防ポンプ自動車（神立消防署配置）購入
- ◎小型消防艇（土浦消防署配置）購入
- ◎CD-I型消防ポンプ自動車（第21分団配置）購入
- ◎水道消火栓設置

区 分	事業費（千円）	概 要
化学消防ポンプ自動車購入	49,749	[神立消防署配置] 昭和60年配置の化学消防ポンプ自動車の更新
小型消防艇購入	7,402	[土浦消防署配置] 平成5年配置の小型消防艇の更新
CD-I型消防ポンプ自動車購入	8,715	[第21分団（下高津）配置] 平成2年配置の消防ポンプ自動車の更新
水道消火栓設置工事負担金	7,697	天川一丁目・笠師町・神立町 小松一丁目・小山崎・東崎町 中都町一丁目・永国・虫掛 西根南一丁目 計10基 ○消防水利基準 906基(H21.4.1現在) ○現有 801基
合 計	73,563	



化学消防ポンプ自動車



小型消防艇

【施策の成果】

車両の計画的な更新整備を図るため、常備用車両1台、小型消防艇1艇及び非常備用車両1台を購入しました。
また、消防水利の不足する地域へ消火栓を10基設置し、消防施設の充実を図りました。

款	消防費	項	消防費
施策名	自動体外式除細動器（AED）整備事業		
施策体系名	市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり		
決算額	6,395千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 (6,395千円)

【施策の概要】

◎自動体外式除細動器（AED）購入

区 分	事業費（千円）	概 要
自動体外式除細動器（AED）購入	6,395	保育所，児童館，幼稚園，武道館，青少年の家，消防自動車4車両の合計25台を配置

◎自動体外式除細動器（AED）の配置経過

年 度	配置台数			救命講習受講者数	
	整備	寄贈等	配置(市)施設職員	住民及び法人等	
平成17年度	9台	-	9台	49名	118団体 2,986名
平成18年度	25台	23台	2台	108名	132団体 3,883名
平成19年度	28台	24台	4台	95名	156団体 3,964名
平成20年度	25台	21台	4台	150名	156団体 3,883名
合 計	87台	68台	19台	402名	562団体 14,716名

自動体外式除細動器(AED)配置設置施設一覧表

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
1	土浦市役所	高津庁舎	土浦小学校	新生保育所
2	土浦保健センター	新治地区公民館	下高津小学校	荒川沖保育所
3	新治総合福祉センター	一中地区公民館	東小学校	霞ヶ岡保育所
4	川口運動公園管理事務所	二中地区公民館	茨塚小学校	東崎保育所
5	土浦市民会館	三中地区公民館	大岩田小学校	都和保育所
6	国民宿舎「水郷」	四中地区公民館	真鍋小学校	天川保育所
7	土浦市霞ヶ浦公園体育施設管理事務所	六中地区公民館	都和小学校	神立保育所
8	土浦市老人福祉センターウララ(ウララ6F)	上大津公民館	荒川沖小学校	竹ノ入保育所
9	土浦市老人福祉センターながみね	都和公民館	中村小学校	桜川保育所
10		土浦第一中学校	土浦第二小学校	新川保育所
11		土浦第二中学校	上大津東小学校	都和児童館
12		土浦第三中学校	上大津西小学校	ボブラ児童館
13		土浦第四中学校	神立小学校	新治児童館
14		土浦第五中学校	右碕小学校	土浦幼稚園
15		土浦第六中学校	都和南小学校	土浦第二幼稚園
16		土浦都和中学校	乙戸小学校	いくぶん幼稚園
17		土浦新治中学校	菅谷小学校	都和幼稚園
18		新治運動公園	藤沢小学校	大岩田幼稚園
19		新治保健センター	斗利出小学校	新治幼稚園
20		土浦市営斎場	山ノ荘小学校	武道館
21		土浦市老人福祉センター湖畔荘	荒川沖消防署(貸)	青少年の家
22		土浦市勤労者総合福祉センター	神立消防署(貸)	土浦消防署 車両積載
23		土浦市亀城プラザ	土浦消防署南分署(貸)	荒川沖消防署 車両積載
24		土浦消防署(貸)	土浦消防署並木出張所(貸)	神立消防署 車両積載
25		新治消防署(貸)	社教センター(独自購入)	新治消防署 車両積載
26			土浦市老人福祉センターつわぶき	
27			神立地区コミュニティセンター	
28			まちかど「蔵」	
計	9	25(34)	28(62)	25(87)



普通救命講習会の様子



自動体外式除細動器(AED)本体

【施策の成果】

保育所，児童館，幼稚園，武道館及び青少年の家にそれぞれ1台，消防自動車4台の合計25台を配置し，市民生活の安全の確保に寄与しました。

また，各施設に配置する前に，その所属職員に対し救急講習会を実施しました。

さらには，設置施設利用者，団体，町内会や法人等への救急講習の要望に対しても積極的に対応しています。

款	教育費	項	小学校費
施策名	都和小学校児童通学対策事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	7,589千円	財源内訳	国県支出金等 (1,303千円) 一般財源 (6,286千円)
【施策の概要】			
◎ J Rバス関東山ノ荘線の廃止（平成20年3月31日）に伴い、同バスを利用して、都和小学校へ通う児童の代替手段として、通学バスを運行する。 ◎対象児童数（平成20年度） 小山崎町22人，今泉町12人，栗野町11人 計45人 ◎運行日 土・日・祝日・夏休み・冬休み・春休み等の休日を除く毎日（約199日） ◎便数及びルート（大型バス利用） 登校時（午前7時台） 1便（栗野—今泉—小山崎—都和小学校） 片道約5km 下校時（午後3時台，午後4時台） 2便（都和小学校—小山崎—今泉—栗野） ◎通学バスを利用する児童の保護者から負担金を徴収（8月除く） 負担金（児童1人：3,000円，利用日数12日未満は1,500円） @3,000×延380人＝1,140,000 @1,500×延109人＝163,500 合計 1,303,500円 延489人（月平均44.5人）			
【施策の成果】			
廃止となったバスを利用していた都和小学校児童45人の通学手段を確保しました。 また、徒歩通学に伴う危険を防止できました。			

款	教育費	項	小学校費 中学校費
施策名	学校建物耐震診断調査事業		
施策体系名	市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり		
決算額	11,603千円（小学校） 15,750千円（中学校）	財源内訳	国県支出金等 3,481千円（小学校） 5,044千円（中学校） 一般財源 8,122千円（小学校） 10,706千円（中学校）

【施策の概要】

学校施設は、非常災害時における児童生徒の安全確保を図るとともに、地域住民等の避難所としての役割を果たすことから、校舎等の建物の耐震・耐久性の確保、安全性の維持などの防災機能の強化を図る必要があります。

よって、学校建物の安全性を確認するために必要な調査（耐力度調査・耐震診断調査）を行い、結果に基づいて補強・改築等を検討しました。

◎小学校

- ・藤沢小学校耐震診断調査業務委託
- ・斗利出小学校耐震診断調査業務委託
- ・山ノ荘小学校耐震診断調査業務委託

藤沢小学校耐震診断調査 事業費 3,518千円

校舎棟	2棟	1,262㎡ S53年築
		1,785㎡ S53年築

斗利出小学校耐震診断調査 事業費 2,205千円

屋内運動場棟	1棟	699㎡ S50年築
--------	----	------------

山ノ荘小学校耐震診断調査 事業費 5,880千円

校舎棟		2,671㎡ S55年築
屋内運動場棟		680㎡ S48年築

◎中学校

- ・土浦第三中学校耐震診断調査業務委託
- ・土浦第五中学校耐震診断調査業務委託

土浦第三中学校耐震診断調査 事業費 10,395千円

校舎棟	4棟	3,094㎡ S54年築
		1,480㎡ S55年築
		946㎡ S56年築
		286㎡ S56年築

土浦第五中学校耐震診断調査 事業費 5,355千円

校舎棟	2棟	1,345㎡ S53年築
		1,567㎡ S53年築



藤沢小学校



土浦第五中学校

【施策の成果】

耐震診断調査を実施したことにより、計画的な補強・改築等を実施することとなります。

款	教育費	項	小学校費	
施策名	土浦小学校校舎棟及び屋内運動場棟改築事業			
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり			
決算額	498千円	財源内訳	国県支出金等	一般財源 (498千円)
【施策の概要】				
◎土浦小学校改築事業に伴う埋蔵文化財試掘確認調査掘削業務委託 事業費 498千円 老朽化が著しいため、耐力度調査実施に基づく危険校舎・不適格校舎棟及び屋内運動場棟の改築を行い、建物の耐震・耐久性を確保するとともに、施設整備による学習環境の改善を推進します。このため、改築するにあたり、平成20年度は埋蔵文化財試掘確認調査を行いました。				
				
土浦小学校				
【施策の成果】				
埋蔵文化財試掘確認調査を行ったことにより、今後、計画的に土浦小学校の改築事業を進めることとなります。				

款	教育費	項	小学校費
施策名	小学校における英語活動推進事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	666千円	財源内訳	国県支出金等（666千円） 一般財源（0千円）
【施策の概要】			
1 導入の目的 ①授業において学級担任とA L Tが関わることにより、児童のコミュニケーション能力を育成する。 ②校内研修として、授業を参観する視点を全職員が共通理解し、提案授業を行い、授業力の向上を図る。 ③拠点校授業参観や小学校外国語活動の実施に向けた研修会を行い、他の小学校の実践にも役立てる。 2 外国語の授業の実施について ①単元構成の工夫を図りました。 単元の構成については以下のようなことについて留意しました。 ア 児童にとって身近で親しみやすいもの イ 学年の発達段階に応じたもの ウ 国際理解、異文化理解に関連するもの エ 季節や行事に関連するもの ②学級担任とA L Tの役割について ア H R T（Home Room Teacher：学級担任教師） ・児童の個性やA L Tの特性を生かしながら、活動が円滑に展開されるようにしました。 ・児童ができるだけ不安を抱かずに活動できるように支援しました。 イ A L T（Assistant Language Teacher：外国語指導助手） ・自然な英語や使い方や発音を「Exercise」や「Activity」などあらゆる場面を通して生きた英語を児童に提供しました。 ③H R TとA L Tによる授業について 英語活動では、主にH R Tが主導で展開してきました。			
 小学校外国語授業風景			
【施策の成果】			
◎積極的に英語を理解したい、英語を話したいという児童の意欲が高まっている。 ◎「英語で話せる言葉が増えた」、「いろいろな人と英語で話したい」「児童が手作りのゲームなどを体験する機会が増えた」など英語活動のよさを味わえるようになりました。 ◎A L TやV E T（Volunteer English Teacher：ボランティア英語教師）と連携しながらも、担任教師が中心となる英語活動の授業が定着してきました。 ◎子どもたちのコミュニケーション能力の育成をめざして、本校独自の英語活動の目標や指導内容、指導方法及び教材の開発が進められ、他校にもその成果が及んでいます。			

款	教育費	項	小学校費
施策名	理科支援員配置事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	1,658千円	財源内訳	国県支出金等（1,658千円） 一般財源（0千円）
【施策の概要】			
1 目的 研究者、技術者、大学院生等の外部人材を、小学校5・6年生の理科の授業に配置活用することで理科の授業の観察・実験活動の充実及び教員の資質向上を図りました。			
2 活用の状況 - 全小学校にアンケートを実施し、配置を希望する9小学校36学級に9名を配置しました。 - 授業で、児童の興味や関心を喚起する実験、観察を行いました。 - 授業をスムーズに進めることができるよう、実験のための準備を理科支援員が積極的に行いました。 - 授業後には、後片付けをして、理科室の整理整頓を行い、安全管理に努めました。			
3 教員の資質向上について 理科支援員が講師となり、児童の興味をひく実験のアイデアや、実験器具の作成方法などについて研修を行いました。			
			
理科実験授業風景			
【施策の成果】			
◎「学ぶ意欲」の向上を図ることができました。 ◎ 理科を学ぶことの意義や有用性を児童が実感できる機会が増えました。 ◎ 科学的知識を活用したものづくりや探求的活動の素地づくりに貢献しました。 ◎ 実験や観察の基礎的知識や技能の習得に効果がありました。			

款	教育費	項	中学校費	
施策名	国有財産取得事業（第三中学校校地）			
施策体系名	行財政改革の推進と市民サービスの向上			
決算額	172,305千円	財源内訳	国県支出金等	一般財源（172,305千円）
【施策の概要】				
◎国有財産取得事業（第三中学校校地） 平成5年までは無償で借地していましたが，その後，国において行政財産から普通財産への切替に伴い，国有財産特別措置法によって有償となっていました。このため，第三中学校校地を取得しました。 ・土浦第三中学校校地取得面積 26,915.78㎡				
				
土浦第三中学校校庭				
【施策の成果】				
国有財産（第三中学校校地）を取得したことにより，毎年歳出していた借地料が不要になりました。また，長期にわたり安定した利用ができるようになりました。				

款	教育費	項	中学校費
施策名	宿泊体験学習事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	17,305千円	財源内訳	国県支出金等 (4,879千円) 一般財源 (12,426千円)
【施策の概要】			
◎ 参加人数：1,260人 ◎ 内 容 ・中学生1年生を対象に、4泊5日の宿泊体験学習を実施しています。 宿泊先：茨城県立中央青年の家 ・1日の生活は、学校生活を基本とします。 夕食後の活動及び青年の家等での活動は各学校で計画します。 ◎ 各学校の実施期日と主な体験内容 ・土浦第一中学校 平成21年1月12日（月）～16日（金） 《進路学習，グループエンカウンター》 ・土浦第二中学校 平成20年6月30日（月）～7月4日（金） 《星座観察，グループエンカウンター，救命講習》 ・土浦第三中学校 平成20年12月1日（月）～5日（金） 《笠間焼き体験，野外炊飯》 ・土浦第四中学校 平成20年11月17日（月）～21日（金） 《笠間焼き体験，切り絵体験，アイススケート体験》 ・土浦第五中学校 平成20年6月23日（月）～27日（金） 《古典落語鑑賞，絵手紙作成》 ・土浦第六中学校 平成20年11月10日（月）～14日（金） 《オリエンテーリング，飯ごう炊飯》 ・都和中学校 平成20年10月27日（月）～31日（金） 《ALTとの交流会，星座観察》 ・新治中学校 平成20年5月12日（月）～16日（金） 《野鳥観察，自然体験（県立ミュージアムパーク）》			
			
青年の家での食事風景			
【施策の成果】			
◎協調性や思いやりの心，コミュニケーション能力をはぐくむことができました。 ◎集団の一員としての態度や規範意識・我慢する心など社会人としての基礎的な資質を身につけることができました。			

款	教育費	項	教育総務費
施策名	外国語指導助手委託事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	32,382千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 (32,382千円)

【施策の概要】

1 目的

- ・英語の授業にALT（外国語指導助手）を導入することにより、生徒の英語でのコミュニケーション能力並びに積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。

2 英語の授業の実施にあたっての工夫

- ・英語科の授業における効果的なティームティーチングの在り方についての工夫
- ・基礎的・基本的な内容の確実な定着を目指した言語活動が展開
- ・言語材料を活動の中で活用させながら定着を図る場の設定の工夫
- ・「聞くこと」や「読むこと」を通じて得た知識などを、自らの体験や考えなどと結びつけて、「話すこと」や「書くこと」を通じて発信することが可能となる指導過程の工夫
- ・「コミュニケーションを支えるもの」としての文法指導と「実際の言語のはたらきや使用場面を意識した」言語活動の一体化の工夫



中学校外国語授業風景

【施策の成果】

- ◎生徒が積極的にコミュニケーションを図る態度を育成することができました。
- ◎ALTを導入することにより、外国の文化や外国の人々の物の考え方など、国際感覚を身につけることができました。
- ◎生徒が意欲的に授業に取り組み、特に、聞くことや話すことなどの能力の育成につながりました。

款	教育費	項	社会教育費
施策名	市民会館自主文化事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	23,181千円	財源内訳	国県支出金等 (13,858千円) 一般財源 (9,323千円)
【施策の概要】			
市民会館自主文化事業委託			
◎ 開催場所 土浦市民会館			
◎ 開催時期 平成20年7月3日（木）～平成21年2月15日（日）			
◎ 事業概要			
事業名		公演回数	入場者数
幼児演劇鑑賞教室 「ジャックと豆の木」		3回	2,173人
松竹大歌舞伎 市川亀治郎「弁天娘女男白浪」ほか		1回	457人
コンサート 中村雅俊コンサート		1回	1,031人
落語 名人二人会 笑福亭鶴光、三遊亭小遊三		1回	570人
			H21 2/15（日）
【施策の成果】			
幼児から高齢者まで幅広い年齢層の市民を対象に、演劇や音楽等多様なジャンルに接する機会を提供し、これにより市民の豊かな感性の涵養を図ることができました。			

款	教育費	項	社会教育費
施策名	土浦薪能開催事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	5,000千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 (5,000千円)
【施策の概要】			
第11回土浦薪能の開催補助			
◎ 開催場所 土浦市民会館			
◎ 開催日時 平成20年10月8日（水） 午後6時30分			
◎ 演目・演者 狂言 「佐渡狐」 野村万作			
能 「楊貴妃」 梅若六郎、宝生閑			
◎ 入場者数 656人			
			
第11回土浦薪能「楊貴妃」より			
【施策の成果】			
先人が築いた歴史的遺産を大切に保護しながら、土浦の新たな文化として育成するとともに、歴史と伝統を生かしたまちづくりと古典芸能鑑賞により市民の文化高揚を図ることができました。			

款	教育費	項	社会教育費
施策名	第23回国民文化祭・いばらき2008事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	11,461千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 (11,461千円)
【施策の概要】			
◎県負担対象事業費（負担割合：県8割，市2割） ○洋舞フェスティバル事業 《開催期日》平成20年11月1日（土）・2日（日） 《開催内容》ワークショップ，交流会，公演，会場前イベントの開催 《事業費》 11,897千円 ○映像文化フェスティバル事業 《開催期間》平成20年11月3日（月）～9日（日） 《開催内容》<映像部門> アマチュア映像作品表彰式・上映会，アマチュア・ビデオ・フォーラムの開催 <映画部門> 「エレキの若大将」の映画上映と「寺内タケシとブルージーンズ」の映画音楽演奏会，劇場映画上映会，映画ポスター展の開催 《事業費》 14,459千円 ○霞ヶ浦・水の文化フェスティバル事業 《開催期日》平成20年11月8日（土）・9日（日） 《開催内容》七色帆引き船合同操業，霞ヶ浦周辺地域物産まつり，子ども絵画展の開催 《事業費》 3,944千円 小 計 30,300千円（うち市負担額5,479千円） ◎市単独事業費 《事業費》 6,555千円（うち市負担額3,968千円：他は収入充当分） ◎その他（市支出額） 2,014千円 合 計 38,869千円（うち市負担額等11,461千円）			
 			
【施策の成果】			
国民文化祭の開催期間中，県内外から多くの方々が本市を訪れ，新しい出会いや交流が図られ，文化・芸術を通じた人づくり・地域づくりなど，地域文化の発展に寄与するとともに，ワークショップやフォーラムなどを通して，市民が身近に文化・芸術にふれあい，親しんでいただいたことで，市民の文化・芸術に対する認識をさらに高めることができました。			

款	教育費	項	社会教育費	
施策名	国際交流推進事業			
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり			
決算額	4,010千円	財源内訳	国県支出金等	一般財源 (4,010千円)

【施策の概要】

◎中学生交換交流事業について

○アメリカ合衆国カリフォルニア州パロアルト市の中学生と、土浦市内8中学校の中学生による相互の交換ホームステイを実施しました。

・パロアルト市の中学生8名の受入れ 平成20年7月16日～27日（12日間）

・土浦市内の中学2年生16名のパロアルト市派遣

平成21年3月14日～25日（12日間）

パロアルト市の受け入れ



書道体験の様子

パロアルト市への派遣



交流パーティーの様子

◎土浦市とパロアルト市との姉妹都市締結について

○姉妹都市締結年月日……………平成21年4月7日

○姉妹都市締結のきっかけ…土浦市中学生交換交流事業

○交流の経緯

平成5年7月、旧新治村で、村内の企業を通じて本社のあるパロアルト市内の社員宅にホームステイを行う事業を開始しました。平成7年3月から、現在の交換交流の形式となりました。

平成18年2月の土浦市と新治村との合併後も、この事業を通じてパロアルト市との交流を進めてきましたが、平成20年にパロアルト市側から姉妹都市締結の提案が出され、これを受けて両市で検討した結果、平成21年4月に姉妹都市締結の合意に至りました。

パロアルト市の位置



【施策の成果】

中学生交換交流事業を通じてパロアルト市との交流を深めることができ、平成21年4月に両市の姉妹都市締結に結びつきました。

また、派遣された中学生たちは海外でのホームステイや学校訪問などを通じて外国の人々と直に触れることができ、国際的な見識が高められました。海外へ派遣されていない生徒達も、パロアルト市の中学生受入れによる学校訪問時に交流の場が得られ、国際感覚の醸成に役立ちました。

款	教育費	項	社会教育費
施策名	青少年健全育成事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	3,466千円	財源内訳	国県支出金等 (2,310千円) 一般財源 (1,156千円)

【施策の概要】

区 分	事業費（千円）	概 要
菅谷小児童クラブ室余裕教室改修工事	1,990	新設
大岩田小児童クラブ室余裕教室改修工事	1,476	増設
合 計	3,466	



菅谷小学校児童クラブ室

【施策の成果】

菅谷小児童クラブは余裕教室の改修工事を実施して、平成20年4月から新規開設しました。

大岩田小児童クラブは年度当初の入所児童数が107人でしたが、余裕教室を改修して増設を図ったため、児童1人あたりの広さを確保し、受入れ体制を整えることができました。

款	教育費	項	保健体育費
施策名	かすみがうらマラソン大会開催事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	10,000千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 (10,000千円)

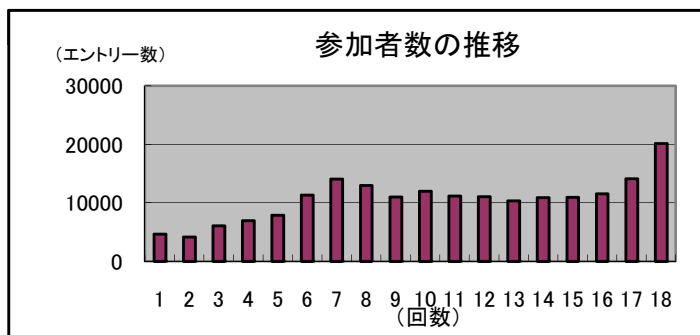
【施策の概要】

第18回かすみがうらマラソン兼国際盲人マラソンかすみがうら大会（国際視覚障害者スポーツ協会公認）は、4月20日（日）、土浦市川口運動公園陸上競技場を発着点・かすみがうら市歩崎公園を中間点に（日本陸連公認コース）、世界9ヶ国からの招待選手をはじめ、全国46都道府県から、国内3番目の規模となる20,118人のエントリーを得て盛大に開催しました。

本大会は、従来から「甦れ 霞ヶ浦 水はスポーツの源」をメインテーマに、水質浄化啓発用広告塔の設置や、ランロードクリーン作戦の展開、また応援船を運航し霞ヶ浦に直に触れ合う場を設けるなど、霞ヶ浦の水質浄化や環境問題に対する意識の啓発を図っています。さらに、「体験する福祉・ノーマライゼーションの実践」をテーマに、「国際盲人マラソンかすみがうら大会」を併催し、視覚障害者と健常者との隔たりをなくしたスポーツ交流の場において、身近に福祉を体験することを実現するとともに、盲導犬育成事業を展開するなど福祉への意識の高揚を図っています。

例年3,000名を越えるボランティアが参加し、大会に対する市民の意識も高くなっています。また、大会主旨に賛同し、有森裕子さん、君原健二さんなどの有名ランナーが参加し話題を呼んでいます。参加料の一部は、霞ヶ浦の浄化基金、盲導犬の育成助成金、ハート・オブ・ゴールド支援金などとして使用されます。

また、今大会では、更なる飛躍と国際化を図るため、世界有数のマラソン大会であるシドニーマラソン（シドニーランニングフェスティバル）と姉妹マラソンの提携をいたしました。



第18回大会エントリー数

	マラソン	国際盲人	ウォーク	総数
フルマラソン	11,354	71		11,425
10マイル	6,467	72		6,539
5キロ	1,771	40		1,811
ウォーク			343	343
総数	19,592	183	343	20,118

第18回大会収支決算

(単位：千円)

収入総額	122,849	参加料，市補助金等
支出総額	122,849	宣伝広報費，参加賞等



【施策の成果】

過去最高の20,118人のエントリーを得て開催しました。国内のマラソン大会の数は2,000とも3,000とも言われていますが、今大会のエントリー数は東京マラソン，那覇マラソンに次ぐ全国3番目で、国内屈指の大会へと成長しました。

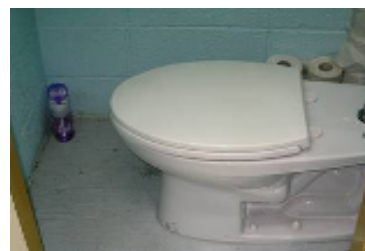
款	教育費	項	保健体育費	
施策名	川口運動公園整備事業・市民運動広場整備事業			
施策体系名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり			
決算額	28,917千円（川口運動公園） 3,507千円（市民運動広場）	財源内訳	国県支出金等	一般財源（28,917千円 （3,507千円 川口運動公園） 市民運動広場）

【施策の概要】

◎川口運動公園整備事業（トイレ改修工事）

〔トイレ改修工事〕

老朽化している川口運動公園内トイレの景観及び衛生面の改善を図るため、6棟の内装改修工事及びうち1棟の水洗化工事を行いました。



川口運動公園内トイレ

〔陸上競技場管理棟外壁等改修工事〕

老朽化している川口運動公園陸上競技場管理棟外壁について、安全性及び景観の改善を図るため、補修及び塗装工事を行いました。



陸上競技場管理棟

◎市民運動広場B面覆土工事

水捌けの悪い市民運動広場B面の覆土工事（2,000㎡×10cm）を行いました。



市民運動広場B面

【施策の成果】

川口運動公園内のトイレ改修は、内外装改修及び水洗化工事により、景観及び衛生面が向上し、利用者に快適な施設の整備を図ることができました。

市民運動公園広場B面覆土工事につきましては、水捌け等が改善され利便性が向上し、利用者に安全な施設の整備を図ることができました。

款	教育費	項	保健体育費
施策名	学校給食センター調理業務等委託事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましいさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	67,994千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 (67,994千円)

【施策の概要】

土浦市行財政改革実施計画に基づき、人件費削減及び給食の安全・衛生管理の強化等を図るため、土浦市立学校給食センター運営審議会の答申を踏まえ、第1学校給食センターの調理、洗浄業務等を委託しました。

なお、業者選定はプロポーザル方式で行いました。

委託内容は、調理、食材料品の保管、水道水の点検、保存食の採取、配送準備、食器具等の洗浄、消毒、保管、施設等の点検・整理及び衛生管理、残食・厨芥等の廃棄物管理、ボイラー業務、学期ごとの総合点検等の調理に関する全般を委託しました。



調 理 場 内 の 様 子

【施策の成果】

平成20年9月から調理委託を開始し、小学校9校、中学校4校、幼稚園3園の1日当たり約7,000食の調理を実施しました。これにより、給食の安全・衛生管理のより一層の強化等が図られました。

款	公債費	項	公債費																																												
施策名	公債費繰上償還等による財政の健全化																																														
施策体系名	行財政改革の推進と市民サービスの向上																																														
決算額	4,342,296千円 (全会計合算)	財源内訳	国県支出金等（4,341,400千円）一般財源（896千円）																																												
【施策の概要】																																															
公債費の繰上償還を実施するとともに、事業の厳選により、市債発行額を抑制しました。 ◎公的資金繰上償還の実施 平成4年5月までに借り入れた年利5%以上の財政融資資金・旧簡易生命保険資金・公営企業金融公庫資金を繰上償還し、低利の民間等資金に借り替えます。 ※平成19～21年度の3ヶ年で実施 [平成20年度実施状況（年利5.3%～6.9%を繰上償還）] (実施額合計：4,342,296千円 公債費軽減額合計：1,205,740千円) (単位：千円) <table> <tr> <th>会 計</th><th>資金区分</th><th>繰上償還額</th><th>繰上償還実施による 公債費軽減額</th></tr> <tr> <td rowspan="3">一般会計</td><td>財政融資資金</td><td>423,731</td><td>68,509</td></tr> <tr> <td>公営企業金融公庫</td><td>210,060</td><td>18,547</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>633,791</td><td>87,056</td></tr> <tr> <td rowspan="3">下水道事業特別会計</td><td>財政融資資金</td><td>1,694,216</td><td>579,763</td></tr> <tr> <td>公営企業金融公庫</td><td>1,376,314</td><td>377,024</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>3,070,530</td><td>956,787</td></tr> <tr> <td rowspan="3">水道事業会計</td><td>財政融資資金</td><td>613,040</td><td>160,468</td></tr> <tr> <td>公営企業金融公庫</td><td>24,935</td><td>1,429</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>637,975</td><td>161,897</td></tr> <tr> <td rowspan="3">総 計</td><td>財政融資資金</td><td>2,730,987</td><td>808,740</td></tr> <tr> <td>公営企業金融公庫</td><td>1,611,309</td><td>397,000</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>4,342,296</td><td>1,205,740</td></tr> </table> [平成19年度実施状況（年利6.8%以上を繰上償還）] (実施額合計：2,542,496千円 公債費軽減額合計：439,420千円) 平成19・20年度合計額 (実施額合計：6,884,792千円 公債費軽減額合計：1,645,160千円) ◎市債残高の縮減 事業を厳選し、市債発行額を毎年の償還元金の範囲内に抑えることにより、市債残高の縮減を図ります。 平成20年度末市債残高73,765,444千円（水道会計を除く。） (対前年度▲2,957,577千円 ， ▲3.9% 対平成10年度【ピーク時】▲21,683,006千円 ， ▲22.7%)				会 計	資金区分	繰上償還額	繰上償還実施による 公債費軽減額	一般会計	財政融資資金	423,731	68,509	公営企業金融公庫	210,060	18,547	合 計	633,791	87,056	下水道事業特別会計	財政融資資金	1,694,216	579,763	公営企業金融公庫	1,376,314	377,024	合 計	3,070,530	956,787	水道事業会計	財政融資資金	613,040	160,468	公営企業金融公庫	24,935	1,429	合 計	637,975	161,897	総 計	財政融資資金	2,730,987	808,740	公営企業金融公庫	1,611,309	397,000	合 計	4,342,296	1,205,740
会 計	資金区分	繰上償還額	繰上償還実施による 公債費軽減額																																												
一般会計	財政融資資金	423,731	68,509																																												
	公営企業金融公庫	210,060	18,547																																												
	合 計	633,791	87,056																																												
下水道事業特別会計	財政融資資金	1,694,216	579,763																																												
	公営企業金融公庫	1,376,314	377,024																																												
	合 計	3,070,530	956,787																																												
水道事業会計	財政融資資金	613,040	160,468																																												
	公営企業金融公庫	24,935	1,429																																												
	合 計	637,975	161,897																																												
総 計	財政融資資金	2,730,987	808,740																																												
	公営企業金融公庫	1,611,309	397,000																																												
	合 計	4,342,296	1,205,740																																												
【施策の成果】																																															
公債費の繰上償還を実施することにより、後年度において総額1,205,740千円の公債費を軽減し、実質公債費比率等の財政指標の改善を図り、財政の健全化に寄与することができました。 また、事業の厳選・施策の重点化による市債発行の抑制により、市債残高を縮減し、将来への負担を軽減することができました。																																															